

第4回刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会

NEWS LETTER

第4回刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会を開催

※意見・アンケート結果等は一部抜粋し掲載しています。

● 開催概要

2026年3月16日(月)に、刈谷駅周辺エリアプラットフォームの第4回全体会を開催しました。全体会の前半では、未来ビジョンver.0について説明を行った後、学生による発表・報告及び分科会の取組内容について説明しました。後半では、個別アクションに関して、参画団体・企業の皆様からリレー形式で宣言を行っていただきました。全体会の最後には、来年度におけるエリアプラットフォームの進め方を共有しました。



● 未来ビジョンver.0について

未来ビジョンver.0では、30年先を見据え、「想いがつながり いつでも みんなの顔が見える まち」を目指す未来の姿とし、4つの「エリアのまちづくり方針」及びビジョン実現に向けた体制を整理しました。

秀島先生(名古屋工業大学)

社会には多くの人があり、それぞれ異なる思いがある中で、ビジョンが生きてきます。最初に計画を作っておしまいでなく、生きているまちづくりの中で随時更新されることを期待します。

今永先生(Co-Innovation University)

ビジョンはみんなが共感してワクワクするものが良く、「目指す未来の姿」に「笑顔」という言葉を入れると良いと思います。体制について、思いがある人が参加しやすい柔らかい表現が望ましいと思います。

ひとことアンケート(未来ビジョンver.0に対する意見)

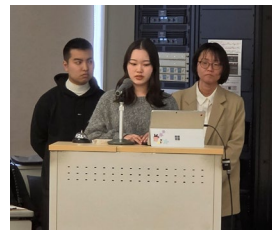
行政の計画・施策を連動・連携しながら実効性を高めてもらいたい。/「想いがつながり いつでも みんなの顔が見える まち」が指す意味が具体的に説明されると、後のアクションプランが定めやすいと思う。/短期・中期・長期での取組みを整理することで、ビジョンを「つくって終わり」にしないことが重要。/刈谷駅周辺を「にぎわい」だけでなく、「居心地」や「顔が見える関係性」という視点で捉えている点に共感した。 等

● 学生からの発表・報告

愛知教育大学の学生より、刈谷駅周辺のまちづくりに関するアンケート結果の発表・報告を行いました。

発表の概要

アンケートは、愛知教育大学の全学生を対象として行いました。その結果、①刈谷駅周辺を訪れる頻度は1・2年生が高いため、1・2年生向けのイベントがあると良い。②車を利用している学生も多いため、刈谷駅周辺までのアクセス性の改善や駐車場の整備が必要。③魅力的なイベントがあれば参加したいという回答が過半数を占めたことから、刈谷駅周辺においては、イベント内容の充実や工夫が必要であると考えられます。



秀島先生(名古屋工業大学)

卒業論文にも利用できるのではないかと感じました。クロス集計を行っており、「こういう人はこういう店を選ぶ」ということがわかるのは有益であると感じました。アンケートによる意識調査だけでなく、利用者の行動(事実のデータ)まで集めることができるとより深い分析ができるようになると思います。

● 分科会の取組について

分科会の活動の方針として、「にぎわい」「憩いと滞在」「移動」「安心・安全」をテーマに考えています。具体的なアクションとして、「刈谷駅周辺花いっぱい運動(仮)」「カリマチストリートの活用(仮)」「障がいのある方も溶け込めるまちへ(仮)」を検討してます。

分科会メンバーの意見①

まずは障がいのある方の存在を知ってもらいたい。関わりを通じて、障がいのある方でも当たり前遊びに行け、運営側としても参加できる取り組みにしていきたい。

分科会メンバーの意見②

福祉の課題解決から入るのではなく、未来ビジョンに向かって障がいのある方と話し合う場はこれまでなかった。当事者の声をしっかり聞いて活動に生かしていきたい。

佐藤先生（名城大学）

ビジョン・ミッション・バリューの連動が大切です。分科会の活動は我々が提供できる価値だが、未来ビジョンと連動していない構造になっていると感じます。分科会が独立した組織ではなく、みんながやっていることの1つであるべきだと思います。みんなが「自分も関わっているものだ」という意識を持つことが必要であると考えています。

● 個別アクション(リレー宣言)について

参加団体・企業・個人より、エリアプラットフォームにおける個々の役割や活動予定について、リレー宣言をいただきました。

新規顧客の発掘や出店支援を目的とし、朝市を行っています。その経験から、イベント時には、周囲の店舗が積極的に参加したくなるような環境づくりが必要だと考えています。

沿線のまちづくりに携わっており、他市においてもエリアプラットフォームに関わっているため、事例共有などできる限りの協力をさせていただきたいと思います。

長年、刈谷駅周辺のパトロールを行ってきました。今後も「花いっぱい運動」に協力していきたいと思います。また、関係のある店舗から協力を得るように話をしたいと思います。

企業として社会課題の解決に取り組んでいます。各団体・企業・個人の声をまとめるのは難しいと思いますが、その中で、企業として何ができるか考える場にしていきたいと思います。

学生や教員の力を地域に役立てるコーディネートをしています。これからも、学生と地域の「やりたい」を繋いでいきたいと思います。

ハードの整備で終わらず、周辺に連鎖するにぎわいづくりが大切だと思います。そのため、線で繋がる開発を目指していきます。

● 来年度のエリアプラットフォームの進め方について

次回は5～6月に実施を予定。1年間の活動計画や分科会への資金運用について検討します。

ひとことアンケート(エリアプラットフォームの進め方に対する意見)

具体的な活動の結果を踏まえ、未来ビジョンが策定できると良い。/小さな実践を重ね、効果や課題を共有しながら進めることが重要。/民間企業として、望まれていることが何かなどについて分科会を通して議論ができれば良い。/2026年度の目標や詳細なスケジュールなども共有いただきたい。/高校としてどのように関わることができるか考えていきたい。 等

発行・問い合わせ

特定非営利活動法人まちづくりかりや
電話:0566-45-6440
E-mail:info@machikari.com
刈谷市役所まちづくり推進課
電話:0566-62-1022
E-mail:machi@city.kariya.lg.jp